

C型肝炎の最新治療

■C型慢性肝炎について

初期には症状がほとんどありませんが放置すると高率に肝硬変、肝臓へ進行するため、見つけ次第治療が必要です。

■C型肝炎の診断

HCV抗体を未測定 of 患者さんがおられましたら一度測定してみてください。HCV抗体が陽性の場合にはHCV-RNA(PCR法)を測定していただき、陽性であればC型肝炎と確定できます。

■C型肝炎の最新の治療

以前行われていたインターフェロン療法は著効率が低い、半年～1年注射が必要、副作用が強いなど、評判は良くありませんでした。

しかし、現在の治療法は内服薬を2か月～3か月服用するだけで100%近い確率で治癒(SVR=持続的なウイルス陰性化)が得られ、副作用もほとんどありません。

■DAA(直接作用型抗ウイルス薬)について

現在、以下の3剤(いずれも内服薬)が用いられています。このうちエプクルーサはこれまでは非代償性肝硬変が主な適応でしたが、2022年8月からは慢性肝炎・代償性肝硬変にも適応が拡大されました。

薬剤名	対象となる疾患	HCV 遺伝子型	投与期間
マヴィレット	C型肝炎慢性肝炎・代償性肝硬変	すべて	慢性肝炎 : 8週間 代償性肝硬変: 12週間
ハーボニー	C型肝炎慢性肝炎・代償性肝硬変	1型・2型	12週間
エプクルーサ	C型肝炎慢性肝炎・代償性肝硬変 ・非代償性肝硬変	すべて	12週間

治療成績(SVR12率) 国内第3相試験

